

【震災当日の出来事】

●図書室を利用中に被災

震災当日は当代島公民館の図書室に本を借りに来ていたんです。図書室自体はそんなに広くはないのですが、それでも 10 人ぐらいの人が利用していたと思います。大きな揺れを感じ、立っていられなかったので本棚に捕まりました。図書室のカウンターの明かりは天井から吊られているタイプのもので、それが大きく揺れていて落ちてくるのではと思いました。ただ、本棚から本が飛び出すようなことはありませんでした。揺れが収まると職員の方から指示があり、外に避難するように言われたので指示に従いました。

●揺れが収まり外へ。そして帰宅

図書室は公民館の 1 階にあるので、避難の際階段で怖い思いをすることもありませんでした。外の広場に出てみると 30 人ぐらいの人が集まっていたと思います。揺れが収まったので一度公民館に戻ろうとしたのですが、そこでまた余震に襲われたためやっぱり広場に戻りました。しばらく様子を見ていたのですが大丈夫そうだったので、家の様子も気になるためまっすぐ帰宅しました。

帰宅途中、ブロック塀が倒れていました。自宅は公民館から歩いて 5 分のところにある 4 階建てのマンションの 3 階です。玄関を開け、中に入るといきなりひどい光景が広がっていました。玄関に姿見が置いてあったんですが、それが倒れて、鏡の破片が散らばっていたんです。きちんと止めてなかったのも悪いのですが、あれはショックでしたよね。家の中を見渡してみると食器棚の扉が開いていて、軽い食器がいくつか割れていました。しかし被害はそれだけで、ライフラインの電気・ガス・水道はすべて無事でした。とても安心しました。

●水を確保。家族はみんな無事だった

ライフラインが無事だったとはいえ、何があるかわからないので、まずお米を炊きました。次に風呂や鍋、ペットボトルに水を溜めました。水と食料が一番大事だと考えたからです。娘は学校に行っていたのですが、ケガもなく無事に帰宅しましたし、夫は夜遅くに浅草から歩いて帰ってきました。息子は当日は帰ってこれなかったんですが、ケガはありませんでした。家族がみんな無事で本当に良かったです。